

観光（実践校）

空知管内 由仁町立由仁小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、由仁町の基幹産業である農業体験を通して、「自分たちの住む町」について改めて着目し、由仁町の行政機関や民間企業等へ取材を行うなど由仁町の歴史や文化について探究的な学習を行いました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

由仁町の基幹産業である農業について学び、米作り体験を通して「自分たちの住む町、由仁町」に対して改めて着目するとともに、「自分たちが住む町の歴史や文化、みどころなどを調べ、由仁町のホームページで多くの人に発信する」ことを探究的な課題として設定しました。



【米作り体験の様子】

(2) 情報の収集

既存の由仁町教育委員会が作成した「由仁町キッズサイト」での発信に向けて、既存のコンテンツを整理し、どのように町の紹介を行うか検討しました。話合いの結果「町の概要」「歴史」「自然」「防災」「食」「娯楽」「スポーツ」「学校」の8つのコンテンツについて、班ごとに情報の収集を行いました。情報の収集に当たっては、由仁町役場各課、町内図書館及び町内民間企業等へ取材を行い、担当者インタビューを行いました。

(3) 整理・分析

収集した情報の整理・分析を行い、「自分たちが住む町には特徴があること」「開拓から現在に至るまでの流れ」「観光的側面において、由仁町で推奨すべきもの」等を学びました。



【由仁町キッズサイトトップページ】

(4) まとめ・表現

学習の成果として、各グループで学んだことを発表し合い、作成したホームページをインターネット上に掲載しました。多くの人に見てもらうことで、児童が「由仁町のよさを伝えることができた」と実感するとともに、ふるさとに対する愛着を深めることができました。



【QRコード】

②児童の感想等

- ・農業が盛んであることなど、自分たちが住んでいる町のことが、実際に調べてみてよく分かりました。（町の紹介班）
- ・大雨や地震などに対して、町がどんな備えをしているのかが分かりました。（防災班）
- ・昔は、マンモスが住んでいたことに驚きました。もっと町の昔のことが知りたいです。（歴史班）

■取組の成果（○）と課題（●）

- 自分が住んでいる歴史や自然、観光や産業等に関する児童アンケートを6月と11月に行いました。「自分の住んでいる地域の観光や産業についてもっと調べたいと思いますか」の設問に対して、肯定的回答が71.4%から82.5%（+11.1）に、「北海道や自分たちの住んでいる地域は好きですか」の設問に対して、肯定的回答が90.4%から95%（+4.6）にそれぞれ増加しました。他の設問に対しても肯定的な回答が多かったことから、児童が改めて地域に目を向けることにつながりました。
- 児童はホームページでの発信を通じて、地域の特色を学び、ふるさとに対する愛着を高めることができましたが、児童が主体的に課題を探究できるよう、学年の系統性を一層踏まえた指導計画の改善が必要です。
- 情報モラルや情報リテラシーについては、児童の実態に応じて段階的な指導を行う等、継続的な指導の充実を図る必要があります。